

新年のご挨拶～二つの「挑戦の年」に！～



新しき年を迎え、会員のみなさまには益々ご健勝にお過ごしのこととお慶び申し上げます。

今年は元日から穏やかな天候に恵まれましたが、我が国を取り巻く環境という面では何かと変化の激しさが感じ

られ、不透明な年の初めであったように思います。私たちとしては、山口七夕会設立の原点に立ち返り、しっかりと役割を果たしていきたいと考えています。本年もよろしくお願いいたします。

さて、昨年一年を振り返ってみますと、

東京においては、春と秋の会員交流会、夏の総会に加えて、新たに8月の豊洲での納涼祭、10月の幕末維新ウォークラリーや三茶でやまぐち食べちゃろ祭りなどのイベントに多くの会員の方々に積極的にご参加いただきました。あわせて、初めてスタッフとして山口市役所の商工振興の活動支援をいただきました。

また、レノファ山口FCがJ2に昇格したことにより首都圏での試合の応援で集い、盛り上がることができました。さらに、5月のGWには東京発着で「萩往還ウォークツアー」を実施して、歴史の道「萩往還」を歩き、山口の会員との交流を図るなど新たな企画にも取り組みました。

山口においては、春の音楽祭、夏の総会、秋の講演会が定着し、新たに「酎(たけなわ)祭」の企画が進んでいます。新機軸として地元の食材や地酒を満喫しようという楽しみな企画です。また、法人会員も山口を中心に13社に増えてきています。昨年は初めて下関市から法人会員の入会があり、山口市から県内へと広がりを見せてきています。

今年は、大政奉還、王政復古の号令から150年の年、来年は明治維新150年の節目の年を迎えます。山口七夕会も、平成31年(2019年)の設立20周年を2年後に控え、「二つの挑戦の年」にしたいと考えています。

一つは、「ふるさと山口への貢献と交流拡大！」への挑戦です。「祭りで交流、全国からアジアへ！」をキーワードに、レノファ山口の戦いを全国で応援することや戊辰戦争の足跡を辿る旅の企画を考えています。また、「ふるさと納税」の更なる推進と地域の資源である特産品、観光スポットなどのPR活動や売り込みに山口市役所と連携して取り組んで参ります。

もう一つは、「男女、老壮青の幅広い世代の結集！」への挑戦です。社会の流れとして会員の高齢化が進んでいますが、今年も昨年に引き続き、女性や大学生、20代のビジネスパーソンなど若い方々に力点を置いて会員の拡大を図ります。

東京と山口の両本部も役員体制の充実からそれぞれの地域の特色を生かして活動も活発化してきており、次のようなミッションに取り組んでいただくつもりであります。

東京本部では、山口市役所の地方創生の取り組みに協力して、東京圏でのふるさと応援組織の設置に向けたネットワークづくりやSNSを活用した情報発信に積極的に取り組んでいただきます。

また、山口本部では、平成の大合併で広がった一市五町の21地域の特産品などの地域資源を発見し、東京圏に売り込むなどのPR活動に山口市役所や商工団体などと連携して取り組んでいただきます。

これらの取り組みのために、今後とも会員のみならずみなさまのご理解とご協力を引き続きよろしくお願いいたします。

新しい年が、みなさまにとりまして、素晴らしい一年となりますようにお祈り申し上げます。

平成29(2017年)年1月

山口七夕会

会長

ハタケヤマ シロ

目次

○八木会長/新年挨拶.....	1
○目次/重要なお知らせ/法人会員募集.....	2
○平成 28 年 9 月 21 日開催『貴の会』に参加しました！/岡本 暁彦(東京本部/事務局長).....	3
○薩長同盟 150 年企画『幕末維新ウォークラリー』に参加して！(寄稿)/久永 洋子.....	4
○薩長同盟 150 年企画『幕末維新ウォークラリー』スタッフの一日(寄稿)/武内 衛子.....	5
○『三茶でやまぐち食べちゃろ祭り』に参加して(寄稿)/山仲 秀子.....	6
○平成 28 年度山口七夕会山口本部「秋の講演・交流会」(報告)/濱野 文彦(山口本部事務局長).....	7
○平成 28 年度山口七夕会東京本部「秋の講演・交流会」(報告)/山縣 正彦(幹事長).....	8~9
○平成 28 年 12 月 6 日＝「大人の社会科見学」報告	
『日本の工業の父・山尾庸三に学ぶ』～工学部前の銀杏は知っている～(寄稿)/山根 和也.....	10~11
○会員からのお知らせ&イベント情報.....	12~13
＝会員(山口)だより＝	
◆平成の萩往還で山口県の活性化を！	
◆みんしゅうの神様 隊中様の絵本	
＝会員(東京)だより＝	
◆入山アキ子会員/☆イベント情報	
◆山口七夕会 会報第4号 原稿募集！	
○法人会員/新会員紹介(平成 28 年 9 月以降入会者).....	14
○◆ふるさと納税のお願い！ & ふるさと納税ニュース	

＝七夕会通信の他に、次のものも同封して送らせていただきました。ご確認ください。＝

○市報「やまぐち」(10 月、11 月、12 月、1 月 1 日号)

○株式会社 技工団よりお知らせ

○村重酒造株式会社よりお知らせ

○別紙⇒2 月 18 日(土)山口本部イベント「第 1 回 酎-Takenawa-祭り」(案内)&裏面「出欠連絡票」＝西日本の会員

○別紙⇒3 月 11 日(土)東京本部「春の講演会(卓話)・交流会No26」(案内)&裏面「出欠連絡票」＝東日本の会員

○別紙⇒1 月 29 日(日)＝山口本部楽農部会「冬の徳佐を満喫する会」＝山口本部会員のみのみ

【重要なお知らせ】

◎転居されるご予約のある方は…転居予定日、転居先を任意の様式でかまいませんので、下記までご連絡ください。(市報等の資料が届かなくなってしまう！)

◎退会を希望される方は…退会されるのは残念ですが、任意の様式でかまいませんので、下記までご連絡ください。(会員録の整理などの事務処理に必要となります)

〒753-8650 山口市亀山町2番1号 山口七夕会事務局(山口市企画経営課内) TEL 083-934-2746/FAX 083-934-2642

カラー版七夕会通信及び別紙3枚
は、HP で御確認いただけます！
<http://yamaguchi-tanabataikai.org/>

＝法人会員（年会費 1 万円）を募集しています！＝

～山口七夕会では、財政基盤の確立と組織の拡大のため、法人会員を募集しています！～

山口七夕会では、事業年度内に 3 回、会員のみなさまに「山口七夕会通信」や市報「やまぐち」などの情報をお届けしています。現在、会員数は 396 名ですが、法人会員のみなさまは、事業年度内に 1 度、チラシやパンフレットなどを同封してダイレクトメールとしてご活用いただくことができます。(単純に計算しますと、切手 82 円×396 名＝32,472 円のコストが年会費 1 万円の法人会費に含まれることになります。)

次の会員への「山口七夕会通信」などの発送を 6 月過ぎに予定していますので、既に法人会員に登録されている方は 4 月以降の継続をお願いします。また、新規に法人会員を募集しますので、会員のみなさまの関係者やご懇意の法人様の紹介をよろしくお願いいたします。お問い合わせ、申し込みは、以下の事務局にお願いします。

山口七夕会 幹事長 山縣 正彦

◇山口市七夕会事務局(山口市企画経営課内)担当:三浦

〒753-8650 山口市亀山町2番1号

TEL:083-934-2746 FAX:083-934-2642

平成 28 年 9 月 21 日開催『貴の会』に参加しました！（寄稿）

岡本 暁彦（東京本部/事務局長）

平成 28 年 9 月 21 日（水）、「山口宇部の銘酒『貴』を楽しむ会」が、大森東急REIホテル 5Fにて開催されました。山口県出身者や都内の飲食店経営者、大森周辺の方など、日本酒愛好家が 100 名以上参加しました。本会は今年で 14 回目の催しとなりました。本会の参加者は大変多く、各テーブルに約 12 名ずつが円卓に着座しました。私は 12 番テーブルでした。

司会は、村野仁/「貴」東京後援会事務局長（宇部倶楽部事務局長）によって行われ、最初に永山本家酒造場の永山貴博社長が「今年はこれまでで最高のお酒が出来ました」と挨拶されました。その後河村健夫衆院議員、林芳正衆院議員らも祝辞を述べられました。



【永山社長の挨拶時の様子】

私たちのテーブルには山口七夕会から参加した数名以外に、同じテーブルには新潟県ご出身のご姉妹、地元大森出身の方など、山口県以外の方も半分いらっしゃいました。乾杯と同時にリラックスした雰囲気でも語り合い、またお酒が進むにつれていつそう話が盛り上がりました。山口のことを紹介したり、また地元のことを教えていただいたりしました。もちろん山口七夕会のお話もしています。

会の途中では、二胡奏者で宇部市ふるさと大使でもある真真（しんしん）さんが、美しい演奏をしてくれ、会場を一層盛り上げていただけました。また本会には地元大森ご出身のボクシング世界チャンピオンもご出席されており交流が行われていました。

各テーブルには大吟醸酒、吟醸酒、雄町など様々な「貴」をご用意いただきました。中でも大吟醸酒は香りが良く、皆さんに人気ですぐ無くなりま

した。一方私は山田錦ではなく雄町で作られたお酒の旨味と料理を存分に味わっていました。

皆さんご存知かもしれませんが、「貴」はお酒単独でももちろん美味しいですが、特に食事との組み合わせで一層楽しむことを考慮して作られているようです。香りが良いお酒は華やかですが、食事に合うお酒とは限りません。私は各種「貴」と料理の食べ合わせを味わうことで、「貴」を筆頭に日本の食文化がますます発展していくことを想像して楽しんでいました。ところが空想にふけていたところ、テーブルの皆さん日本酒が大好きな方ばかり、気が付いたら全てのお酒を飲みつくされていました。残念でしたが、これも「貴」が美味しかった証ですね。



【各テーブルには今年の「貴」の酒瓶が並ぶ】

閉会後には、酒粕と蒲鉾が入ったお土産袋をいただいた上、永山本家酒造スタッフにお見送りいただきました。



お酒の余韻に浸りながら帰路につきましたが、来年も盛会に開催されることを心から祈念しました。



【交流の会話も盛り上がりしました！右から二番目が筆者】

◎平成 28 年 10 月 15 日＝「幕末維新ウォークラリー2016」(報告)＝協力事業
『幕末維新ウォークラリー』に参加して！(寄稿)

会員No.232 久永 洋子

10 月 15 日家を朝 6 時半に出発。秋晴れの爽やかな風に木犀が匂う。町田明広講師による「薩長同盟の研究最前線！木戸孝允と小松帯刀」の講演に感銘しつつ午前 10 時、足取りも軽く出発した。



麹町大通りを直進する。下葉が少し黄色味を帯びたプラタナス並木道である。やがて迎賓館赤坂離宮。明治の始めに片山東熊が設計した初めての西洋建築である。明るくて美しい離宮、さすが国宝だ。



紀尾井坂を下り清水谷公園に着く。公園中央に大きな碑があった。大久保利通が赤坂御所へ出仕する途中暗殺された場所だ。弁慶橋を渡ると银杏の香りと

共に国会議事堂が見えて来る。そして憲政記念館だ。展示室で木戸孝允、西郷隆盛、坂本龍馬の裏書等、薩長同盟の立役者達の達筆を見る。

金毘羅宮の境内のベンチでドッと腰を下ろす。この時やっと何km歩いたか計算すると 5.3 kmで約半分歩いた事に気がつく。

歩きながら薩摩出身の女性と話が弾む。愛宕山に到着するが、海拔 26m、都内随一の高さと言われるだけあり足が震える。勝海舟と西郷隆盛になって江戸市中を見回すもののビルに遮られて何も見えない。昔は海が見え屋敷町の風景だったそうだ。

一面に立ち並ぶ家々の景色を眺め、西郷は勝から戦の無益さを熱心に説かれたのであろう。ここまで 7.8 km、かなりきつい。やっと増上寺が見えた頃はみんな足が重く「まだ歩くのかしら」、「もう 2 時よ」等とぼやく。でも私はスタスタと歩く。この年令でこんなに歩けることの発見が一寸嬉しかった。そして芝公園に辿り着く。お弁当係の方の「お疲れ様」の声にホッとした。薩長弁当の鳥の炊き込みご飯と豚の角煮の美味しかったこと。

休めた足で再出発。田町駅近くの細い横丁に入っていくと酒屋若松屋に出た。幕末には西郷、勝等多くの要人達の密談場所であったとか。すると長州人はどこで密談をしたのであろうか？いよいよ最後のポイント薩摩藩蔵屋敷跡だ。実は、ここで西郷、勝の江戸城無血開城の会見が行われたようだ。

志士達が命を賭けて江戸中を駆け巡った中のごく一部を今日私は歩いたのだ。ゴールは本芝公園、10 kmを完歩出来て土光さんと喜び合った。その頃はすり足になっていたが…。万歩計は 25,072 歩をカウントしていた。

憲政記念館の碑にあった尾崎行雄 94 才の言葉 “人生の本舞台は常に将来に在り” が今日のラリーを通じてじーんと私の胸に響いた。

◎平成 28 年 10 月 15 日＝「幕末維新ウォークラリー2016」（報告）＝協力事業

薩長同盟 150 年企画『幕末維新ウォークラリー』スタッフの一日（寄稿）

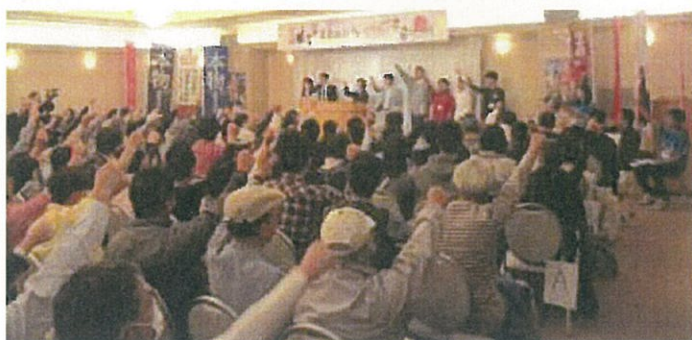
会員No.219 武内 衛子

10 月 15 日、爽やかな秋晴れに恵まれ、スタッフ一同、7 時 30 分ルポール麹町に集合、薩長各スタッフ一同に会し、発会式、お揃いのジャンパーや T シャツを身に着け、熱く気合が入ります。



まずは、220 名の参加の方々の A～F ブロック毎に受付開始。

鹿児島、山口のゆるキャラちゃんも激励に！なかなかの人気者、和やかな空気が流れ、10 時から記念写真を撮って各グループ毎に時間差のスタート。



その後、私たち昼食担当は、山口県東京営業本部の大永主任の指導の下、鹿児島県東京事務所の若手 2 名、山口七夕会は山縣 Jhovie、武内の 2 名。事前に下見等重ねられたと感じられる緻密な説明を受け、スタッフ 4 名やる気満々であった。タクシーに厳選されたこだわりの小野茶入りの段ボールを積み込み、昼食会場の芝・増上寺の傍らの芝公園に。お弁当、お茶を置くベンチの確保、念入りな下見をされていて、何事もスムーズに運んだ。

山口ゆかりのお店「福の花」別邸謹製の、薩摩、長州の食材を生かしたその名も「薩長弁当」も届き、各ブロック毎に種分け。陽射しを避け、陽影、陽影へと移動させながらの待機。2 時過ぎに A ブロック到着。参加の方達は暑い中、元気な笑顔で並ばれ、お弁当お茶を引き換えチケットと交換に、手渡し、薩長 4 名のスタッフのそれは見事な連携プレイであった。全てのブロックの方達にお渡し終了。お弁当の容器、ペットボトル等回収の場を設営。

「初めて美味しいお茶と出会ったわ。何処で売っていますか？」、「黒豚の角煮美味。鹿児島の黒豚？」、「河豚出汁の玉子焼き、優しい味ね」等を喜んでいただき、また、ご参加の方達との雑談もあり、和気あいあい。スタッフも暑さや慌ただしさも充実感で、ほっこり。シートや容器などの後片づけも終え、ゴールまで歩き完歩なさった方達の笑顔に出会い、滞りなく終了。

4 人のスタッフを鮮やかに束ねて下さった山口県の大永主任に感謝し、4 名、「思い出深い一日でしたね。」「また来年も是非」とお別れを。



企画、運営をしていただいた、薩長、両県のスタッフの方達の心より感謝を致しつつ…終わりにひとこと…。山口県の大永主任は、なんと私の 64 年来の仲良しの友人のご子息でした。そんなご縁に感謝し、舞い上がってしまったことを記して結びます。

ーおわりー

◎平成 28 年 10 月 29～30 日＝「三茶でやまぐち食べちゃろ祭り」(報告)＝協力事業
『三茶でやまぐち食べちゃろ祭り』に参加して(寄稿)

会員No.363 山仲 秀子

前日の雨が上がった秋晴れの 10 月 29 日(土)、30 日(日)、渋谷から程近い三軒茶屋ふれあい広場で首都圏-山口ネットワーク推進協議会主催の「三茶でやまぐち食べちゃろ祭り」が今年も開催されました。

両日ともいろんな世代のたくさんの来場者があり、その中には山口県出身者や転勤で山口生活をした事のある在京中の方々もおられ、お話しをすることができました。

出店の数は、山口地ビール(株)、榎野川漁業(組)、(有)鹿野ファーム、(株)シマヤ、昭ちゃんコロッケ(株)、おいでませ山口館など 20 程です。

ステージが設けられ、たくさんの演目が用意されました。ちょんまげ、袴姿で山口の歴史や昔話を紙芝居で紹介した「山口どこでも紙芝居」。



ダンスで高杉晋作と KIHEI 隊を上演した「山口維新キャラバン隊」、まるで 150 年昔のグループサウンズのようでした。



驚きましたのはバルーンパフォーマンズです。常盤公園のお話しをしながら風船でアット言う間に白鳥、お花、犬などなどを作る「ザーキー岡」。子ども達は大きい歓声をあげ、その手元をじっと見つめていました。

湯田温泉のゆるキャラ、ゆう子ちゃんのダンス。そして防長倶楽部きらら会会員の合唱などがありました。

私は、山口七夕会会員 5～6 名と一緒にお店のお手伝いをしました。山口市経済産業部ふるさと産業振興課・神足さんの指示で湯田温泉旅館(組)のお店のお菓子「湯田狐福」と湯田温泉水 100 パーセントのスプレー「ゆだうるる」の販売です。

「いかがですかー」と大きい声を出しますがなかなか買って頂けません。もう一度大きい声「いかがですかー」。2 つ買って頂いた時は「ありがとうございました」と思わず頭が深く下がりました。いつも何気なく買い物をしています私ですが、売ることの難しさを実感した一日でした。



左隣はゴマなどを販売するお店でいつもいい香り、右隣は製菓ボールボロン「ザビエルの鐘」のお店でした。左右のお店が忙しい時は手伝いでした。帰省の折にはぜひ山口のお店に行きたいと思います。



山口を離れて 45 年、今も旅先でよく山口の風景と重なることがあります。いつまでもふるさと山口を思い、応援したいと思います。



平成28年度山口七夕会山口本部「秋の講演・交流会」

濱野 文彦(山口本部事務局長)

平成28年11月26日(土)17時より、山口市湯田温泉「西の雅 常盤」において、山口七夕会山口本部「秋の講演・交流会」が開催されました。

はじめに瀬川本部長より開会挨拶があり、その後、伊藤副市長より来賓挨拶がありました。

講演会では、「奇兵隊の風～もつれ雲編～」というタイトルで元小学校教諭の西村洋一先生よりお話がありました。西村先生におかれましては、同タイトルの本をご出版しておられ、今回の講演はその本の内容に基づくお話でした。



講演の中で特に印象に残ったのは、福田侠平のお話でした。福田侠平は、高杉晋作が最も信頼した男とも言われ、明治元年にその生涯を閉じています。(詳しくは、西村先生の本やインターネットでも調べられますので是非ご覧ください。)

明治維新においては、維新後その活躍が認められ、政府の要職に就き歴史に名を残した長州藩出身の人物が数多く存在する一方、志半ばで若くして命を落とし、歴史の表舞台でスポットライトを浴びることなくその生涯を終えた人物も多く存在します。しかしながら、国を想い、命をかけて戦った彼らもまた、歴史の表舞台に名を残した人物と同様、我が国の礎を築いた一人であることに変わりはなく、同様に顕彰されるべきであると思っています。明治維新150年を契機に、其々の天命を精一杯に生きた彼らの人生に、少しずつでも歴史の光を当てることができれば幸いです。

さて、講演会終了後は、同会場にて交流会が行われました。申神副本部長の乾杯挨拶に始まり、恒例のじゃんけん大会、吉田正治顧問の挨拶で閉会となりました。

当日は 34 名の参加となり、大いに盛り上がりました(新規入会の申し込みもありました)。山口七夕会山口本部では、今後とも山口市の歴史・文化の学習を通じて、ふるさと山口市の魅力を再発見、県内外に発信できる様な事業を今後も展開していければと考えています。



平成 28 年度山口七夕会東京本部「秋の講演・交流会」(報告)

山縣 正彦(幹事長)

平成 28 年 11 月 26 日(土)11 時から初めての会場である飯田橋のインテリジェントロビー・ルコ(RUKO)において 35 名の参加で「秋の講演・交流会」を開催しました。



【八木会長/挨拶】

梶山東京本部長の司会進行で始まり、開会にあたり八木会長から、「レノファ山口は、山口県初のプロのサッカーチームで今年は J2 リーグに昇格されて 1 年目ですが年間順位 12 位と健闘された。来季は J1 へと期待しています。山口市は、スポーツによる地方創生をめざしておられますが、私たち山口七夕会もこれまで以上に山口市との連携を深め、東京から、そして山口の会員と協力して郷土山口市の発展に貢献したい。J1 昇格をめざすレノファ山口を応援しながら連携を図っていききたい。今年最後の交流会なので会員相互の親睦も図ってください。」と挨拶がありました。

講演会は、山口からおいでいただいたレノファ山口 FC/経営企画室長の中島和彦氏から「レノファ山口の現状とレノファ山口を通じた山口の活性化・地方創生」と題してお話しをいただきました。

講演では、まず、レノファという言葉の意味は、【中島 和彦氏】「renovation(維新)」の頭文字「レノ」と「fight(戦う)、fine(元気)」の「ファ」を合わせて「レノファ」になったことやレノファ山口が 2006 年に創立され、その後 JFL から J2 に駆け上がった歴史を紹介いただきました。



【中島 和彦氏】

また、サッカーの特徴として、チーム名=愛称+地域名があり、これは都市対決の意味合いに通じている。世界的にメジャーなワールドカップやクラブワールドカップもあること、また、サッカー専用のスタジアムの必要性やサポーター(応援団)はロイヤリティ(忠誠心)が高く全国のサポーターと繋がっていて観光にも貢献しているなどプロスポーツチームがあることによる経済効果、小中学校の訪問とかいろいろなイベントで地域への貢献を図っていることなど、興味深いお話をたくさんいただきました。最後に、今後もレノファ山口をうまく使ってサッカーで山口県の活性化に役立てて欲しい。レノファカードというものもあって使うと 0.01% がイオンからレノファ山口にお金が入るので支援もお願いしたいと結ばれました。

講演会に続き、参加された関係団体のみなさまからご挨拶がありました。



【山口県東京営業本部】



【防長倶楽部】

【伊藤 健/副本部長】

【村野 仁/事務局長】

山口県東京営業本部の伊藤副本部長、公益財団法人/防長倶楽部の村野事務局長からはイベントの案内や活動の報告がありました。

また今回、初めて参加いただいた NPO 法人ふるさと回帰支援センター/やまぐち暮らし東京支援センターの平尾氏からは、YY ターンや孫ターン、さらには、JR 有楽町駅前の東京交通会館 8 階のやまぐち暮らし東京支援センターの紹介がありました。



【NPO 法人ふるさと回帰支援センター/平尾 佑子氏】

山口市役所からは経済産業部ふるさと産業振興課の金子忠正主幹と神足万里子副主幹、山口市役所から国土交通省に派遣中の服部譲氏、自治体国際化協会に派遣中の古谷弘之主査にもご参加いただきました。



【金子 忠正/主幹】

金子主幹には最近の山口市のできごとを「トピック」としてお話いただきました。

◆トピックス内容

●「連携中枢都市圏宣言」

山口市と宇部市が中心市となり、周辺市町（防府市、萩市、美祢市、山陽小野田市、津和野町）と一定の圏域人口を保ち、広域的な連携により活力ある社会経済を維持することを目的とした取り組みについて、11月28日に山口市と宇部市が宣言を行う予定。

●「日本のクリスマスは山口から」



【フィンランド・サンタクロース村での山口PR】

12月から山口市は「クリスマス市」となり、市内各地でイベントが開催される。また、11月8日には市長がサンタクロース村のあるフィンランド・ロヴァニエミ市を訪問し観光交流パートナー協定を締結し、同市に山口市観光ブースを設置。湯田温泉「狐の足あと」にも12月3日から31日までロヴァニエミ市の観光PRブースを設置。



【狐の足あとでのフィンランド展示】

●「東京オリンピック・パラリンピックのホストタウン誘致」

東京オリンピック・パラリンピックで海外選手らを受け入れる「ホストタウン」として6月14日に山口県とともに登録されました。



【プール会場を視察中】

本市は姉妹都市パンプローナがあるスペインのキャンプ地招致を目指しており、7月20日、スペイン大使らが本市を訪れ、水泳競技とゴルフ競技の会場の視察を行いました。

オリンピックは本市出身のトップアスリートの活躍が大きく期待され、キャンプ地誘致をはじめ、スポーツを通じた国際交流の賑わい創出による地域の活性化に今後、取り組んでいきます。



【ゴルフ場を視察するスペイン大使ら】

◆ふるさと納税のPR

生まれ育った故郷や応援したい自治体に対し、寄附を行える「ふるさと納税」制度の説明や山口を感じてもらえるお礼のお品の紹介がありました。

また、会場では地元山口のスポーツチーム「レノファ山口FC」を応援するお礼



【レノファ山口 2017 ユニフォーム】

のお品として来シーズンのユニフォームやシーズンパスチケットなど新たに追加された商品の山口七夕会限定の事前予約や寄附の申込がその場でできる特設ブースが設けられました。

◎平成 28 年 12 月 6 日＝「大人の社会科見学」報告

『日本の工業の父・山尾庸三に学ぶ』 ～工学部前の銀杏は知っている～(寄稿)

会員 No.39 山根 和也 (横浜市青葉区在住)

当日、引率いただく方が東京大学大学院工学系研究科機械工学専攻の金子成彦教授(山口七夕会会員)という胸ときめく企画。この 5 月「萩往還ウォーク」にも挑戦した身にとってこの年の瀬を締めくくるにふさわしい探歩会になるだろうと迷うことなく、参加を伝えた。

当日、本郷通りから赤門をくぐりキャンパスに入ると、見事な銀杏並木が安田講堂へ続いている。大勢の清掃職員が空から果てしなく降り続く銀杏の嵐と戦っている。ガイダンスの行われる金子研究室の工学部周辺だけでなく、構内全部の銀杏の絨毯を踏みながら工学部の金子研究室に 13 人の一行は向かった。

工学部校舎周辺には創世記に活躍されたであろう教師や総長の塑像がたくさん設置され、歴史の深さを物語っている。ギューギューと銀杏の葉を踏みしめる音までもなぜか聡明そうな音に聞こえるのは気のせいかな？工学部前広場の東大のシンボルと言われる大銀杏は樹齢何百年か。キャンパスの歴史の証人、悠々と佇んでいる。

熱を帯びた金子研究室でのお話終了後、不忍池の弁天様を抜け、上野・芸大に着いた頃は晩秋の陽はすっかり傾いていた。芸大と東大工学部との誕生が山尾庸三の構想の一環だったことを教えていただき、芸大美術館での観方も変わってくるだろうと思いながら歩いた。

金子先生(山口市出身)、そしてアシスタントをいただいた、助教・上道茜先生(田布施出身)、本当にお世話になり、有意義な時間をありがとうございました。

＝ガイダンス；「山尾庸三の足跡」＝
◎生い立ち＝山尾庸三は幕末の天保 8 年(1837)周防国吉敷郡二島村(山口市秋穂二島)生まれる。7 歳の頃、自宅から約 3 里離れた小郡にある寺子屋に通う。10 歳の時には才能を認められ小郡役所の従者の役に就き、1856 年徳山の長州藩士から歴史、漢詩、書を学ぶ。早くから才能を認められ、20 歳になって江戸へ行く決心を固めた。生まれて初めて長州から外へ出た。

◎木戸孝允と大村益次郎との出会い＝江戸に着いた庸三は、長州藩士桂小五郎(後の木戸孝允)塾頭を務める、江戸三大道場の一つ練兵館に入塾。庸三を見て小五郎は「弟ができた」と言って喜んだという。この小五郎との出会いが庸三にとって人生の転機となった。また、練兵館で武術を学んでいた隣村の大村益次郎との出会いは、庸三にとって大きな転機となった。その後、長州藩士として認められた庸三は井上勝と海軍の修業のため海外へ密留学を命じられ、のちに加わった井上馨、伊藤博文、遠藤謹助の 5 人で密かに横浜港から出航したのが 1863 年 5 月。長州 5 傑である。庸三 25 歳だった。

◎イギリスでの留学生生活＝庸三たちを乗せた船は 4 か月後の 11 月ロンドンに着いた。巨大都市ロンドンを目の当たりにした 5 人はその進んだ文明に驚愕。庸三はロンドン大学ユニバーシティ・カレッジ(UC)のウィリアムソン教授を紹介され、その家に下宿した。英語を懸命に勉強し、英語が理解できるようになって UC の聴講生として入学。分析化学を選択、庸三は他にも土木工学を受講。また、教授は学問ばかりでなく、イギリス社会の礼儀作法も教えてくれた。次第にイギリスの文化と技術に馴染んでいった。しかし、井上馨、伊藤博文の二人は半年後の 1864 年 4 月急きょ帰国。密留学の目的は残された 3 人に託されることとなった。

◎グラスゴーで造船技術を学ぶ＝UC で学んでいた庸三は造船技術を本格的に学ぶため、造船業の盛んな、産業革命の発祥地であるグラスゴーへ。そのネピア造船所で昼間は見習工として仕事をしながら技術を学び、夜間授業に通いながら科学の原理を学ぶのが日課となる。井上勝はロンドンに残り、鉄道と鉱山の勉強を続けたが、伊藤謹助は体調を崩して帰国。結局、長州から密留学した 5 人のうち 3 人が帰国した。

◎手話との出会い＝ネピア造船所で働く大工、鉄工などの職人の中に聾啞の人たちがいて「手話」の存在を知る。言葉を話せない人でも、耳が聞こえない人でも「手話」を身につければ立派な職人になれることを学び、日本でも聾啞教育の必要性を感じた。庸三は技術や学問を学ぶことが、人を

創り、産業を創ることだと確信。庸三は「生きた器械になる」という、その基礎をイギリス留学で確かにつけた。

◎帰国して工業を志す＝庸三は明治元年(1868)11月帰国。31歳。東京にいる木戸孝允を訪ねイギリス留学での体験を報告。「工業を以って国を興す」を使命と考え、「工部省」の設置を強く主張。庸三の意見書通り明治3年工部省設置。工部省は工学、鉄道、灯台を管轄。また、工業の人材育成の工学教育の学校の創設の意見書を。また、聾啞教育の設立の意見書提出。明治5年、新橋・横浜間の鉄道完成の開業式に参加。庸三の日本の近代化計画は着実に進んでいった。また、明治9年(1876)、省内に工部美術学校を設置。工業にとって美術は必要不可欠なものと考えていた庸三の頭の中では、工業デザイン(ID)の考え方が確立していた。のちの東大工学部(工部大学校)と東京芸大(東京美術学校)のDNAは見事に原点は一緒だったのだ。

◎工部学校と訓盲院の開校＝明治6年、スコットランドから外国人教師を招いて開校。明治13年、訓盲院開校。グラスゴーでの思い描いていた構想が

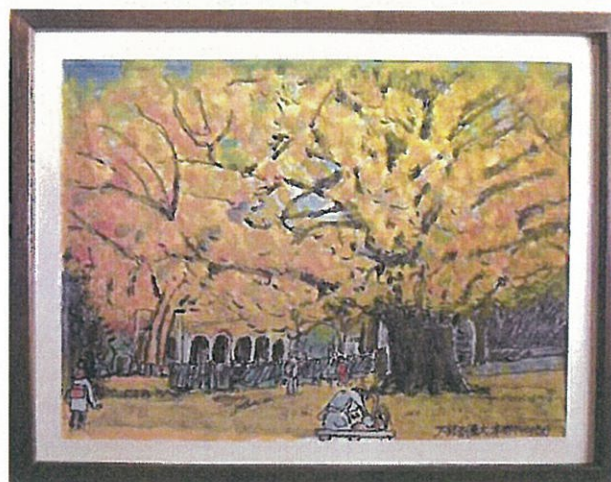
また一つ実現した。また、イギリス人教師たちは帰国するとき、故郷スコットランドの民謡を合唱したといわれる。その民謡こそ、今も卒業式の時よく歌われる曲「蛍の光」。今日も日本全国で歌い継がれてきている「蛍の光」の意味する事実は、心の奥深くにしみる。

◎法制局長官となり、霞が関官庁街を造る＝明治18年(1885)第1次伊藤博文内閣が組織された。この時庸三は宮中顧問官に任命され、皇室制度にかかわり法制局長官に任命された(49歳)。外務大臣の井上馨とともに、イギリスに学んだ3人がこの内閣で一緒に仕事をしたのである。また、大正5年(1915)、日本聾啞協会が設立され、庸三が総裁に就任。グラスゴーで見た「手話」が山尾庸三の手によって日本にもたらされ着実に広がっていったのである。庸三は生涯、耳が聞こえない人、目が見えない人、うまく話せない人のために、社会に参加できるように尽くした人であった。1917年12月東京の自宅で眠るように亡くなった。享年81歳。その夜も黄色の銀杏は音静かに降り注いだ。

※参考資料(長州ファイブ・山近善幸発行「山尾庸三の生涯」(日本の工業の父))



<参加者集合写真・前列左から3番目/金子教授>



「イチョウの木は知っている！」(山根会員・画)

会員(山口)だより

☆ 会員の中野 勉さんが会長を務める一般社団法人「平成の萩往還・中山間地振興をめざす会」の理事/小倉淑夫氏(会員)と理事相談役/中井寅之助氏が上京され、防長倶楽部と山口七夕会に事業の説明と協力の依頼がありました。

この会は、防府ー山口市から萩市に至る平成の萩往還を実現するなどの事業を実施することにより、山陽、山陰の格差を解消し、山口県の発展、中山間地の振興及び地方創生に寄与することを目的として平成 28 年 2 月に設立され、山桜(1,300 本)、里桜(200 本)の植栽などを行っておられます。

事業の説明や入会のご希望の方は、以下にお問い合わせください。

<山口事務所>

山口市三の宮 1-1 電話:083-928-0101

(6 回コールで小倉理事に転送)



小倉理事

中井理事相談役

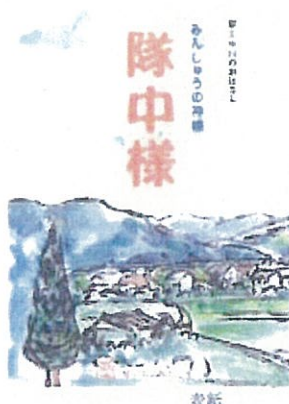
☆ 会員の人見久美子さんから「郷土平川のおはなし」「みんしゅうの神様隊中様」の絵本の案内が届きましたのでお知らせします。連絡先:原田/080・3879・8582、人見/090・4204・4543 genki.hitomi@docomo.ne.jp



小学生から大人までみてほしい 読んであげたい **絵本**

郷土平川のおはなし

みんしゅうの神様 **隊中様**



絵本を見ての便利・感想から

(前略)早速、孫息子と共に拝読させて頂きました。小学 2 年生には幾分難しい表現もありましたが、十分に内容は伝わり「今度いつか読んでみたいね。」と言っていました。そのうち「隊中様のお墓」を訪れてみたいものかと思っているところです。孫たちは、また繰り返し読んで読んで頂くことでしょう。

(曾祖父が奇兵隊士・防府市 H・Y 氏)

このような知られざる歴史のページが、日本のすみずみに沢山かくれていることでしょう。藤山佐熊の源とした姿は高い志を抱いた当時の青年をうづつとさせます。いつの世も歴史はかえりぬく情熱によって書き換えられてきたことをかみしめています。(奥書目主 M・F 氏)

地元の人たちが 160 年近く大切に守り継いできた 民衆のかくれた歴史の真実！

山口市の平川には「隊中様」と呼ばれる藤山佐熊のお墓があります。彼は明治維新を成し遂げるうえで大きな力となった奇兵隊・龍隊のひとつ振武隊の隊士でした。そして

維新のあとも、命をかけて藩政府のやりかたを正そうとする「反乱」諸隊に加わって戦死した 22 歳の若者でありました。藤山佐熊は平川にやってきたとき薬箱をさげっていました……

会員(東京)だより

会員の入山アキ子さんから☆イベント情報☆が届きましたのでお知らせします。

☆イベント情報☆

第2回埼玉歌謡祭(埼玉県所沢市)テレビ埼玉収録!!

2017年5月19日(金)

開演 午前 11:00 ~ 午後 15:00 ~

所沢市民文化ホールミュージズ(航空公園駅 8 分)

チケット 3,500 円(全席指定席)

テレビ埼玉ミュージックとミュージズがタッグを組んだ演歌の祭典



有線へのリクエスト! (有線の入っている喫茶店・スナック・床屋・美容院など)
入山アキ子の『信濃慕情/恋待岬』をリクエストお願いします

TV・ラジオ番組へのリクエストお願いします!! (住所不要)

〒150-8001 NHK「歌謡コンサート係」「新BS日本のうた」「日曜バラエティー」「きらめき歌謡曲」

〒105-8002 文化放送「走れ! 歌謡曲係」

〒106-8039 ラジオ日本「夏木ゆたかのホット歌謡曲係」・「おはよう歌・番係」

お問い合わせ

〒359-1144 埼玉県所沢市西所沢1-26-1-202 入山アキ子後援会事務局

TEL 04-2956-0448 FAX 04-2959-6602 mail [bxq03326@nifty.com](mailto:bqx03326@nifty.com)

入山アキ子公式HP <http://入山アキ子.jp/>

*入山アキ子で検索ください

【後援会員募集中】入会金 1,000 円 + 年会費 2,000 円 = 3,000 円 現金書留・FAX に住所・氏名・連絡先明記の上、送付下さい
振り込み…みずほ銀行新所沢支店(普)4102658 又はゆうちょ銀行 10320(普)81387321 入山アキ子後援会事務局

「信濃慕情/恋待岬」カラオケ全国大会観覧募集

(東京都 羽田空港国際線ターミナル SKY HALL)

2017年3月5日(金)

開演 午前 12:00 ~ (終演 16:00 予定)

チケット 3,000 円(全席自由席)

審査委員長 作曲家 鈴木 淳先生

審査員 作詞家 悠木圭子先生

ティチク 近藤芳樹ディレクター

♪入山アキ子ミニコンサートも♪



<山口七夕会・会報第4号/原稿募集!>

(1)「編集委員会」(編集委員長:武内副会長)では、以下のテーマで原稿を募集します。

- ①「私と山口七夕会」～会発足から今までの出来事やエピソードをお寄せ下さい。
- ②「私と山口」～山口にゆかりのある思い出から最近の出来事までお寄せ下さい。
- ③「私の今」～会員の方の今を語る原稿をお寄せ下さい。
- ④「自由テーマ」～山口七夕会の活動に関連するものを掲載させていただきます。

(2)字数

多くの方々の原稿を掲載するため、1,200字以内でお願いします。

(3)原稿締め切り:平成29年4月30日必着

(4)送り先: □メール:yamagata1954@utopia.ocn.ne.jp(電子データ:Word、テキストなどをお願いします。)

(5)発刊:平成29年7月(予定)

<平成 28 年度新会員>(敬称略)

※9 月 1 日以降の入会者

受付番号	氏名	住所
637	矢吹 信子	山口県山口市
638	長谷川 貞子	山口県山口市
639	久富 宏大	埼玉県越谷市
640	浦前 忠彦	東京都世田谷区
641	湊 和久	山口県山口市
642	湊 由己	山口県山口市
643	中村 洋爾	山口県周防大島町

No.	法人会員	代表者
10	情熱ホルモン山口酒場 (株式会社 ヒューマンティー)	寺崎 泰行
11	株式会社 毎日メディアサービス山口 周南支社	世良 宏治
12	企業組合 アグリアートジャパン	山見 智盟
13	オンガネジャパン株式会社	岡本 昭宏

※会員数:396 名、法人会員 13 社(平成 29 年 1 月 20 日現在)

◆山口市ふるさと納税のお願い

本市では、「山口に住んでみたい、住み続けたい」と実感していただけるようなまちづくりに取り組んでいます。本市のまちづくりのため、皆様からの応援をお待ちしております。



上記の品の他にも、100点以上のお礼の品を用意しています。詳しくは、ウェブページ(<http://www.plusmk.com/closed/sightyagmaguchi/donation/>)でご覧いただけます。

山口市ふるさと納税

検索

ふるさと納税
ニュース

首都圏の飲食店で山口の味を!

ふるなびグルメポイント

山口市では、ふるさと納税を通じて山口が誇る食材を多くの皆さまに味わっていただく取り組みとして、首都圏の飲食店でご利用いただける「ふるなびグルメポイント」のサービスを開始しました。山口市にふるさと納税をしていただくことで東京・大阪・名古屋の山口の食材を扱う提携レストランでポイントを使ってお食事をお楽しみいただけます。



ふるなびグルメポイントの入手方法

ふるなびグルメポイント 山口市 で検索

ふるさと納税ポータルサイト「ふるなび」から、山口市にふるさと納税(寄附)をすると、寄附金額の半額分のポイントが付与され、取得したポイントは提携店舗にて1pt=1円としてご利用いただけます。ポイント即日発行!有効期限なし!

付与ポイント
10,000pt

寄附完了後は、店舗に直接予約し、ふるなびにポイントの利用申請をするだけでご利用いただけます。

ご利用いただける店舗(東京)

- ・別邸福の花(浜松町店)
- ・福の花(日本橋店ほか9店舗)
- ・日本料理 花・味兆
- ・土龍・赤坂 鴨川



協力店舗をぜひご紹介ください!

山口市では、順次、東京・大阪・名古屋の提携店舗を開拓予定です。山口市の食材や地酒などを使って山口市をPRしていただける店舗がございましたらぜひご紹介ください。七夕会の皆さまの情報をお待ちしております。

山口市ふるさと産業振興課 (TEL083-934-2812、FAX083-934-2650)



※山口市市民の皆様も「ふるさと納税」として「ふるさと納税」同様に、レノファ山口ユニフォームなどにお申込できます。